

## 9. 仮設道路計画アプリケーション「道路プランくん3D」

手書き感覚で、3次元描画！！

玉石重機株式会社 ○山口孝人

野中浩平

ジオサーフ株式会社 和泉儀紀

### 1. はじめに

現在、国土交通省が進める i-Construction には施工段階でも盛んに取り組みが進められている中、当社も重機土工に関連する[UAVによる起工測量]⇒[3D 解析・3D モデリング]⇒[ICT 建機施工]⇒[竣工測量]まで対応を確立している。

永年の施工経験から蓄積しているノウハウを ICT 技術に融合させ、施工技術基盤を構築している。

### 2. 開発の経緯

現場経験が豊富であるが、コンピューター操作の不得意なベテラン責任者の意図が織り込めるようにならなければ、ICT 施工が定着しにくいと考え、本ソフトウェア「道路プランくん3D」を開発した。

地形図が表示されている画面に対して、仮設道路の経路指示を行うことで、誰でも 3D 図面を得ることができる。

このデータは ICT 建機への変換用ソースデータとして使用できると共に、各種 2D 図面や施工数量としても表すことができる。

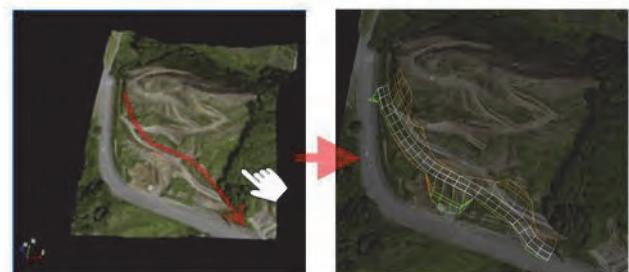
このように容易に3D図面化やICT施工が取り組める基本がコンピュータが不慣れであっても可能となることを目指して開発を行った。

### 3. 製品紹介

#### 3-1 アプリケーションの機能

##### 3-1-1 道路の描画

基本的な機能としては、PC・タブレットなどのタッチスクリーン画面の地形図を指でなぞるだけで、思い通りの道路を 3D 描画できる。

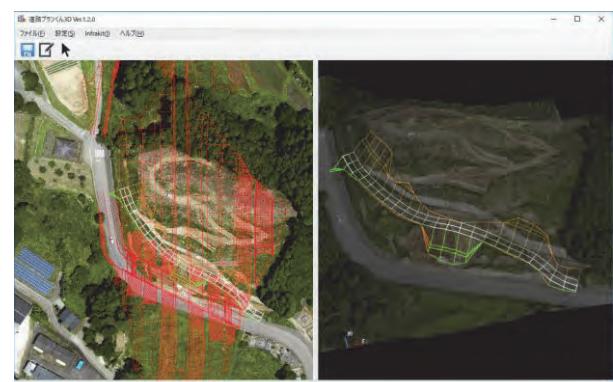


3D 画面

##### 3-1-2 道路の画面表示

PC・タブレット画面には、2D/3D の 2 つの画面が並んで表示され、イメージを具体的に把握することができる。

2D 画面には、設計図(DXF)を表示することができるため、設計との比較も可能である。



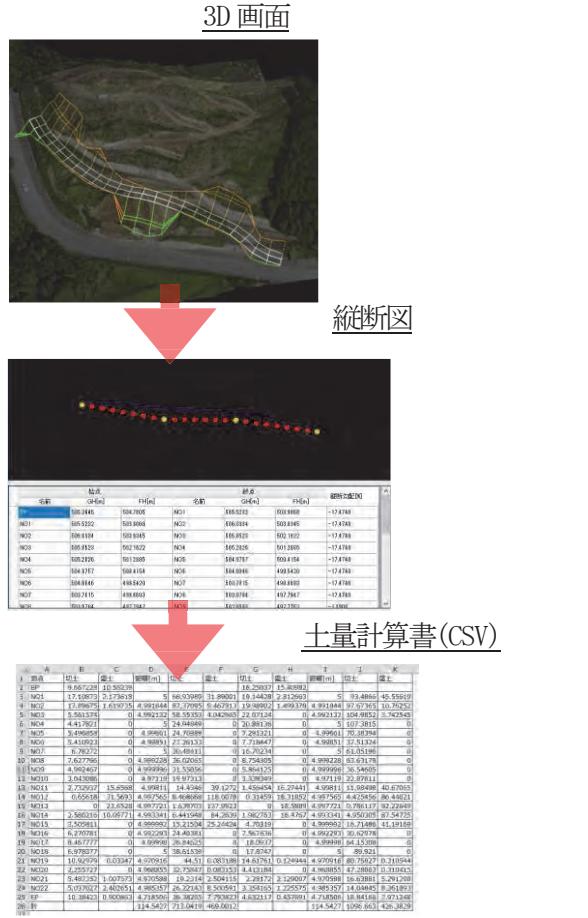
2D 画面

3D 画面

##### 3-1-3 道路の調整

3D 画面で描画された道路の調整を行うと、2D/3D の画面が更新され、変更した内容をリアルタイムに確認することができる。

また、土量計算書の結果は、「CSV」形式で保存も可能である。



3D 画面

縦断図

土量計算書(CSV)

### 3-2 操作の主な流れ

#### ① サーフェスの入力

PC・タブレット画面に、現況データ「XML」を読み込み表示させる。

#### ② 道路のテンプレート設定

設計したい道路の条件をテンプレートに入力する。

#### ③ 背景図の入力(必要な場合)

PC・タブレット画面に、航空写真(TIF)や設計図(DXF)を読み込み表示させることもできる。

#### ④ 道路の描画

道路描画には、直感的な描画ができる「手書き入力」と半径(R)を確認しながら描画ができる「IP 指定入力」の 2 つの方法がある。どちらも簡単な操作で道路を描画することができる。

#### ⑤ 道路の調整

3D 画面で描画された道路は、自由に線形が変えられ、また、道路勾配の変更もできる。

#### ⑥ ファイル保存

描画した道路データは「XML」と「3D-DXF」の 2 つの形式で保存される。

### 4. 今後の展開

誰もが使用することが容易なため、導入しやすく幅広い活用が考えられる。

- ① 精度を上げて、仮設にとどまらず本工事への活用
- ② 緊急時、災害時の避難道路・支援物資道路、その他にも使用できる可能性
- ③ 発注・設計～施工測量・計画まで使用できる等

以上のように、幅広いニーズに応えられるよう技術を変化させ対応していくことで、様々な分野での活用ができる様に開発を継続する。

現在、特許出願中である。

### 3-1-4 道路の保存と活用

作成した道路データは「XML」と「3D-DXF」の 2 つの形式で保存される。

保存されたデータは、重機ガイダンスデータや 3D-CAD データとして活用することができる。

#### 重機ガイダンスデータ

